

平成26年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	呉羽
	全体計画						経費区分		-		内線	3314
事務事業名	4070 地域生活支援事業											
所 属	100100 健康福祉部・福祉課											
施 策	01020500 障がい福祉の充実											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	030102 民生費・社会福祉費・障害者福祉費										
	事業	020000 地域生活支援事業										
事業目的						事業概要・効果						
地域生活支援事業を実施し、障がい者の社会活動を促進する。						障害者総合支援法における地域生活支援事業（手話通訳者派遣、相談事業、各種補助金）を実施し、障がい者の社会活動を促進しする。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
各種事業を実施し、自立と社会参加促進を図った。	各種事業を実施し、自立と社会参加促進を図った。
平成24年度 実績	平成25年度 実績
各種事業を実施し、自立と社会参加促進を図った。	各種事業を実施し、自立と社会参加促進を図った。
平成26年度 予定	平成27年度 予定
各種事業を実施し、自立と社会参加促進を図る。	各種事業を実施し、自立と社会参加促進を図る。

指標名	手話奉仕員養成講座				
算式	累計参加者数				単位 人
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標	131	138	142	150
	実績	134	138	144	
指標選定の理由	聴覚障がい者のコミュニケーションを支援するため				
最終年度目標の根拠	平成12年度からの平均受講者数				
指標名					
算式					単位
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		49,474	61,697
特定財源	国庫支出金	15,094	21,457
	都道府県支出金	7,547	10,728
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		26,833	29,512
人員数(人)	正規職員	1.1	1.1
	嘱託職員	1.5	1.5
	臨時職員	0.6	0.6
人員コスト	正規職員	7,543.8	7,543.8
	嘱託職員	4,087.5	4,087.5
	臨時職員	706.2	706.2
	計	12,337.5	12,337.5
市民一人当たりの経費		1.2	1.4
総額		61,811.5	74,034.5

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	680	手話通訳者派遣謝礼等
11節 需用費	88	
13節 委託費	18,163	地域相談支援事業委託料等
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	1,025	須高地域自立支援協議会負担金等
その他	29,518	

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	986	手話通訳者派遣謝礼等
11節 需用費	119	
13節 委託費	21,916	地域相談支援事業委託料等
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	3,455	須高地域自立支援協議会負担金等
その他	35,221	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	地域生活支援事業を実施し、障がい者の社会活動を促進するための支援の1つとなっている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	地域生活支援事業を実施し、障がい者の社会活動を促進するための支援の1つとなっている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	事業量が増加しているため、コストの軽減は困難。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
障がい者の社会活動を促進するため、各種地域生活支援事業を実施した。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
ノーマライゼーションの理念の実現に向け、障がい者の自立と社会参加の重要性は増している。		障がいのあるなしに関わらず安心して暮らせるまちを目指して継続実施していく。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	